

編輯部情報案内

報週眞寫

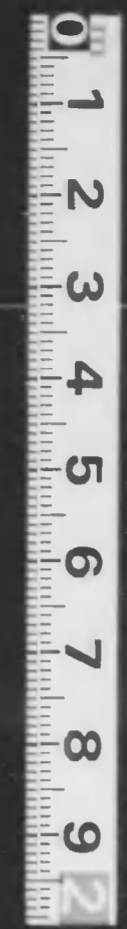
ンセ十 號日一十月五

昭和十七年十月十一日 東京新聞社 東京市市民会館



戦	ま
ふ	づ
織	健
手	康
	週
	間

輝く健康
——東京市市民会館——





樂土滿洲



内地開拓
 往復・回送汽車費
 乗車券 二〇人以上 三割引
 乗車券 二〇人以下 五割引以上
 学生優待

満洲省満洲省庁
 大連市
 下関駅前
 新潟古町

局總道鐵鐵滿

まづ健康

國民精神總動員健康週間
 五月十七日—三十一日
 厚生省

↑ 公衆衛生院
 東京市芝区
 國民健康の向上を期するにまづ高度の予防醫學や、公衆衛生に關する知識と技能をもつ技術者を養成訓練することが必要だ。公衆衛生院は米國ロックフェラー財團からの寄附によりこの必要にこたへて、こんど新しく設置され、厚生大臣の管理に屬することになった。



「まづ健康」健康こそは、國の幸福と繁榮の基であり、不健康は凡ゆる不幸と悲愴の源である。
 國家にあつても同様、國民が精神と健康に豐か、その國家はいよゝ強く、いよゝ上榮え、國民が不健康に侵される所、その國家は必ずや、衰亡の道を辿らねばならぬ。實に、國民の健康は國家強盛の原動力である。

我が國の出産率は歐米には類例を見ない高率であつて、人口千につきイギリスの二五・二、フランスの一六・一、イタリアの二三・四、ドイツの一八・〇以上昭和九年、アメリカ一六・六（昭和八年）に對し、我が國が三一・六（昭和十年）であるのは、顯微日本の大きな勝である。（第十一號統計要報）
 然し乍ら、國民健康の尺度とも云ふべき死亡率も亦列國に比して、驚かに高率を示してゐる。即ち、最近五年に減少の傾向にはあるが、昭和十年の一般死亡率は人口千につき一六・八であり、乳児死亡率は出生百につき二〇・七であつて、これを歐米國に比較すると、

ちみのへ康健



ハイキングこそは都市生活者にとって、健康の増進と精神の鍛錬と知識の涵養とを兼ね具へた質實剛健且つ近代的な旅。

↑ 地位向上のかけ聲に、鏡夜を語るものは説いた。おちいさんもおばあさんも幼な兒にまじり、毎朝臨近所を誘ひ合つて小学校の運動場へ、テオオ操場にも張り切る一老人は語る、「一朝でもこれを試みかすと一日中仕事に張りがなくなつてのうー」

山形県酒田市。

↓ 清朗な朝風、昇る旭日に灌刺と輝く律動舞、工場の上には男ましくもこだまする幾百の職工さんたちのかけ聲は鉄線産菜のたのもしい力だ。

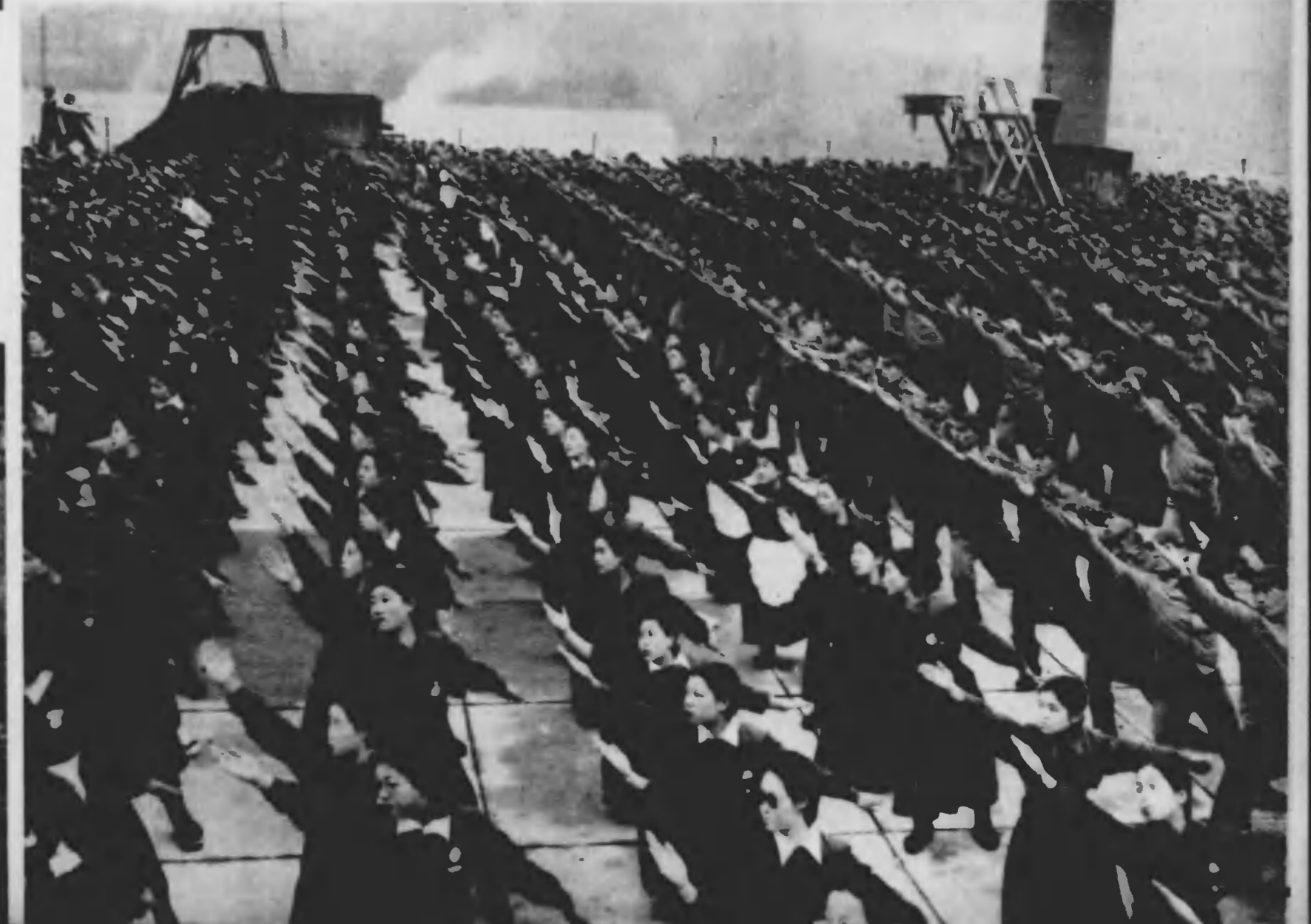
「僅か五分や十分の體操が何になる」とわらふ人は食はず練ひの放言だ、スエーデン、デンマーク、或は戦後のドイツなど、全國民に普及した體操で、國民體位がいかに向上したことがか。



東京市渋谷区羽澤の市民農園
コンクリートの建物で働き、喧騒の中に住んで、めつたに土をよむことさへ出来ない都市人に、せめて一畝の自然を與へやうといふのがこの市民の農園だ。上衣をぬいで鎌とる市民は自分の借りた土地に自分の健康を耕す。

↑ 種、苗、肥料もくれれば、農具も無料で借してくれる。技師に教へてもらつて播いた者もすいすいと穂を出した。皆で丹精した大根を今夜は何にして食べやう。

↓ 一畝三十平方米の畝、一ヶ年十五圓の借料を拂へば、わが家の畝だ。お父さんも幼やもなつかしい土の香を嗅ぎながら毎朝の手入れ。お父さん、この白い花に赤い實がなるの。五月の陽を一杯にあびて苺のやうな坊やの頬つべたには健康の汗が流れる。





生活

飲料になる水が得られないところがある。しかしそのやうな所でも極く簡単な濾過装置を使ふだけで、清潔な水となり安心して飲める。水は命のもと、研究せよ。千葉鎌山武郡大和村

5 毎日のおそうざいにもいさし科学的な献立にすれば同じ取値の食事も栄養価が増す。埼玉縣児玉郡七木村の人々は指原員を迎へて講習會を開いた。その日から農村の献立が古い因習をすてて食膳にのぼるやうになつた。

6 住宅改善
はじめとした家は病障の巣窟だ。東京市深川區住吉町不良住宅改良會

7 改良後の住吉アパート。

8 養老改善
病は口から、病は鼻から、明るく清潔に。廣島縣三田郡常金丸村の改良前の養老所

9 その改良後

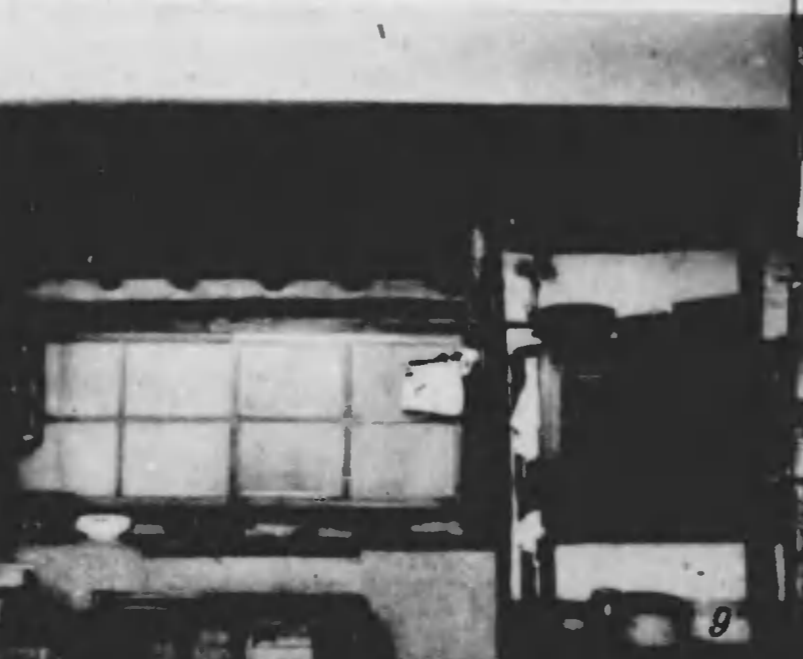
健康への

7 お病者は高いからといつて、みず／＼身體を害ふほど悲惨なことはない。患者も偏見を去り、醫師もともに歩みよつて、明るい健康の維持に向はねばならない。赤十字病院育児相談所は、白い手術室から街頭に進出、家庭訪問をして貧しく病める人々を勵まし慰めつゝ、充分な療養のゆきとくやうに努力してゐる。赤十字大阪支部

2 國民の體位向上も不斷の注意と努力から。全国簡易保険相談所も進んで一般家庭の健康維持のため定期的診察にのり出してゐる。

3 福岡縣八幡市枝光小學校。安くて、栄養の多い、又お互ひにひがみつこない營養食。家庭に先立ち小學生たちが一齊に營養食配給を受けてゐる。軍隊、工場等と共に協同の精神と規律を養ふ集團生活では、營養食のよさが一段と發露される。

4 都會には上水道があるが、田舎では井戸をどんなに深く掘つてもかな氣やあくがあつてどうにも



川口市栄養食配給所
工業都市川口市は従業職工の營養改善を圖らうと、昭和九年同市工場聯合會の事業として東京市營養研究所の佐伯博士指導のもとに大規模の營養食配給所を設立、現在では第一第二、第三の配給所をもつ。全職工の約三分の一、四千人の職工さんたちに、朝食七錢五厘、食費十錢、夕食九錢五厘といふ安値で而も營養研究所が太液符を押す營養食を配給してゐる。

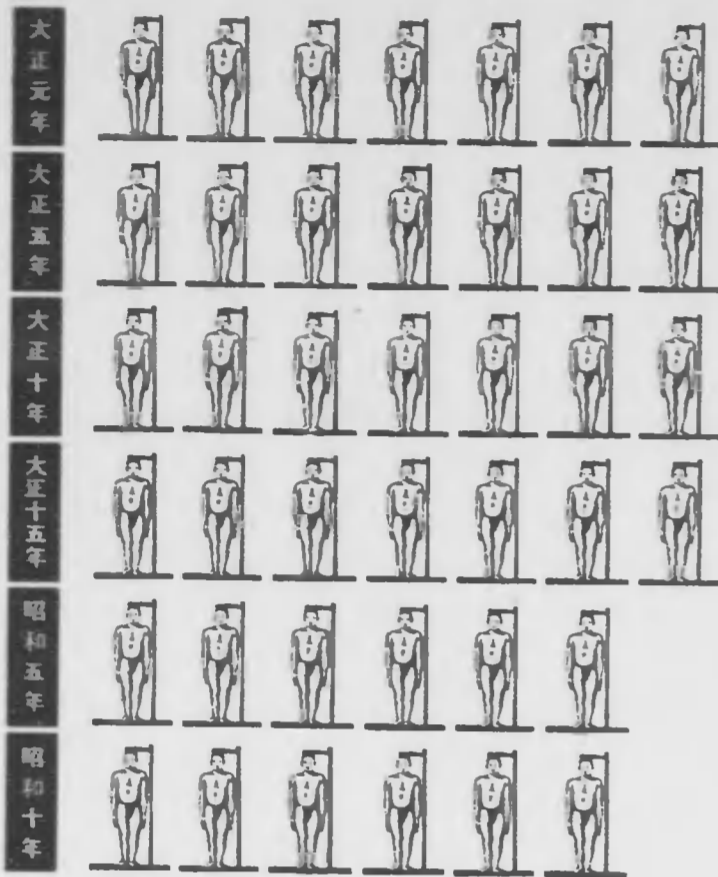
上 飯は胚芽米、而も大粒に蒸氣で炊いてほか／＼と上る湯氣、これでこそ労働者の健康は保證される。

中 葱も大根もみんな機械で

下 一はい、御待ち運様「美味さうな豚汁の取りに来た職工さん、腹をぐらうならせよ。

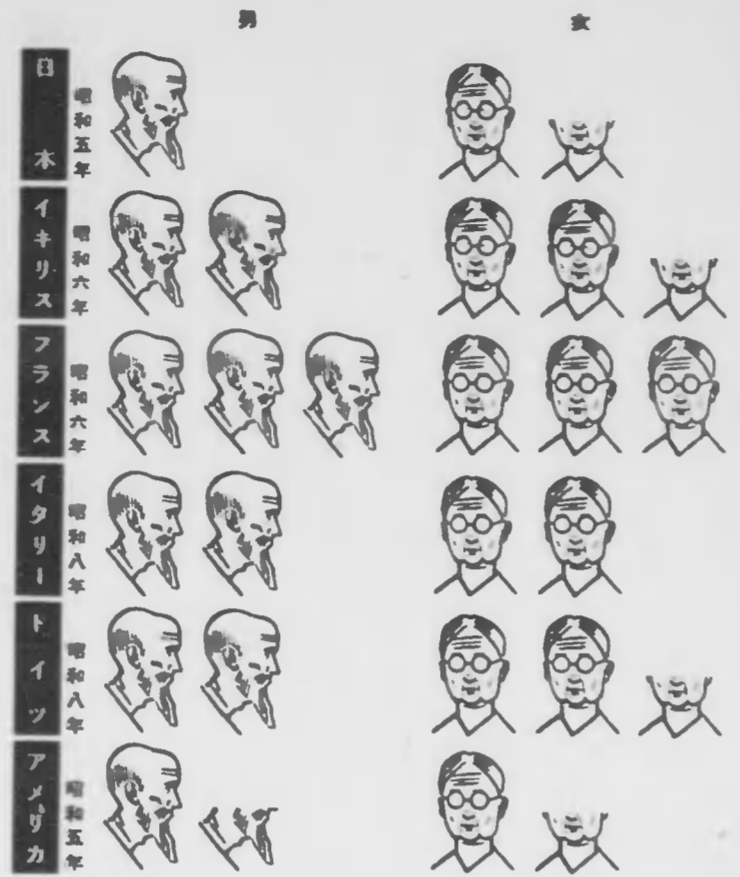
甲種壯丁累年比較

(單位五十人) (陸軍省陸務局調査)



世界各国、七十才以上高齢者

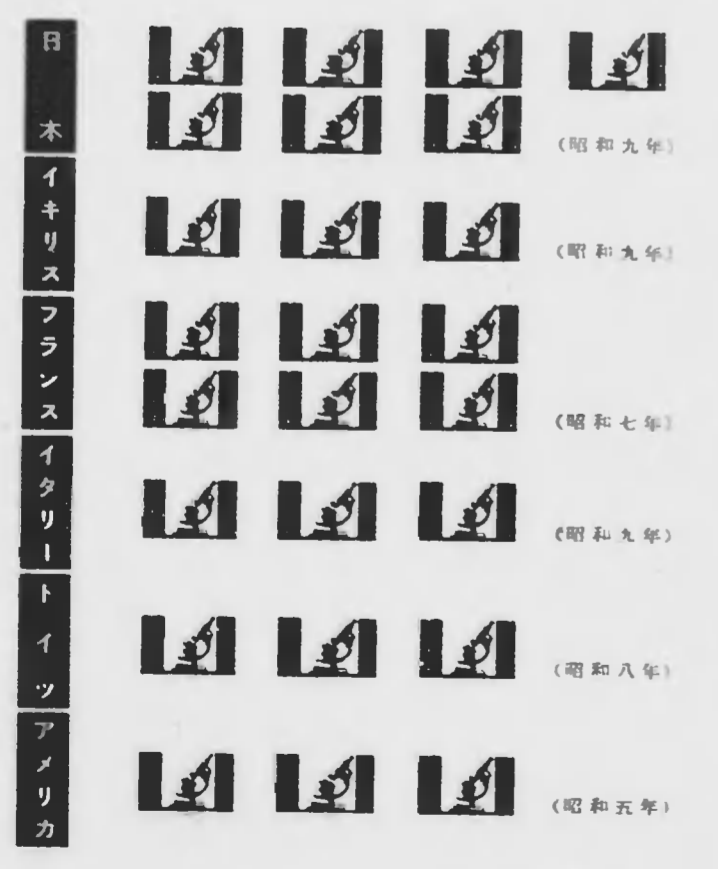
昭和十二年・日本學術振興會調査



(男女人口五十人ずつ)

世界各国ニオケル結核死亡比較

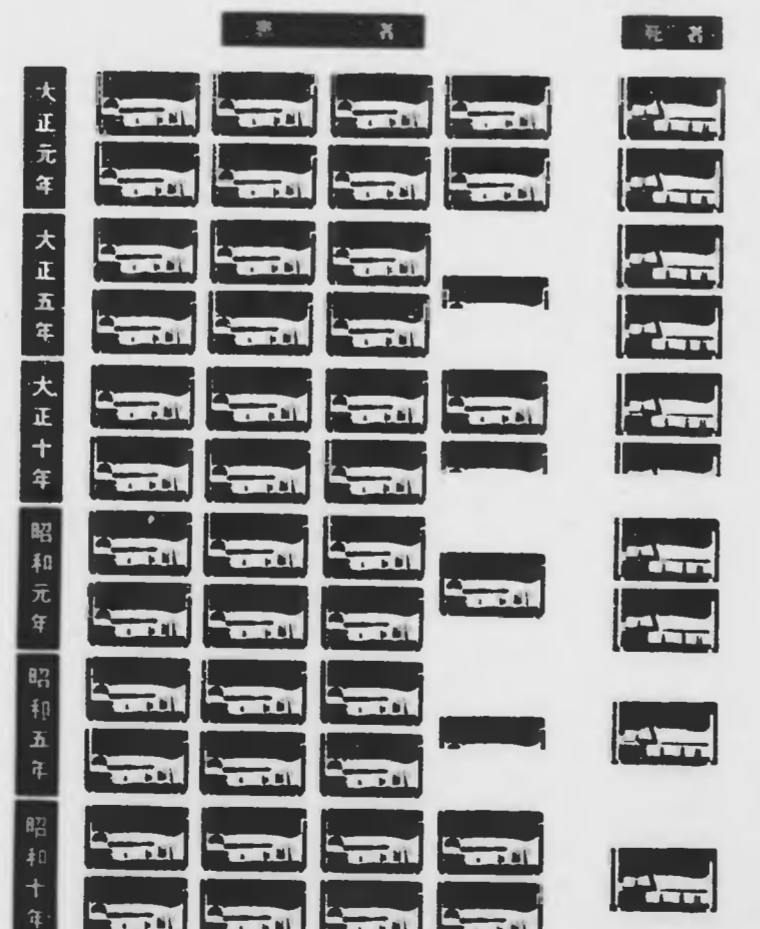
昭和十二年・日本學術振興會調査



(人口五千ずつ)

法定傳染病患者及死者累年比較

(陸軍省陸務局調査)



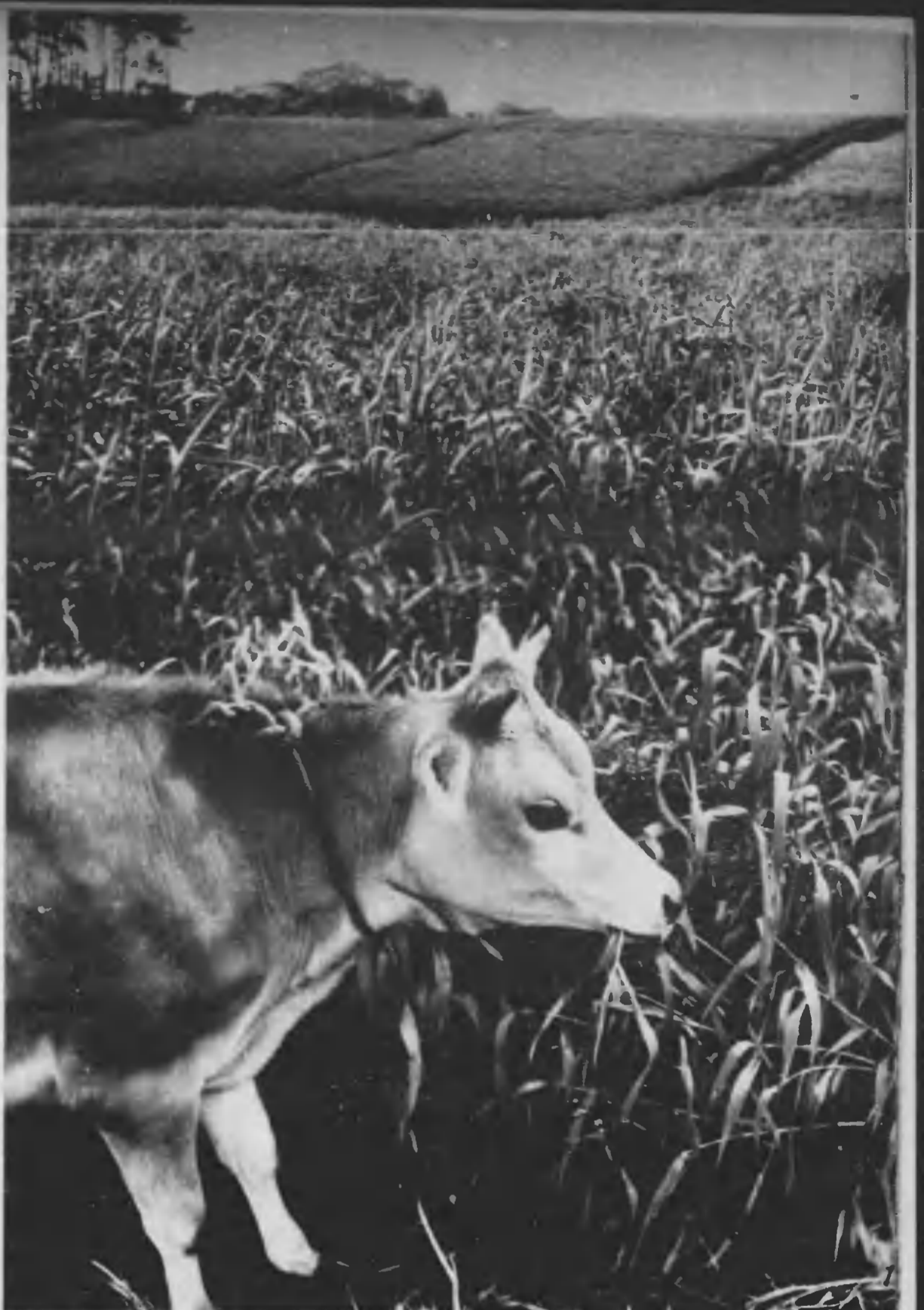
(人口五千ずつ)



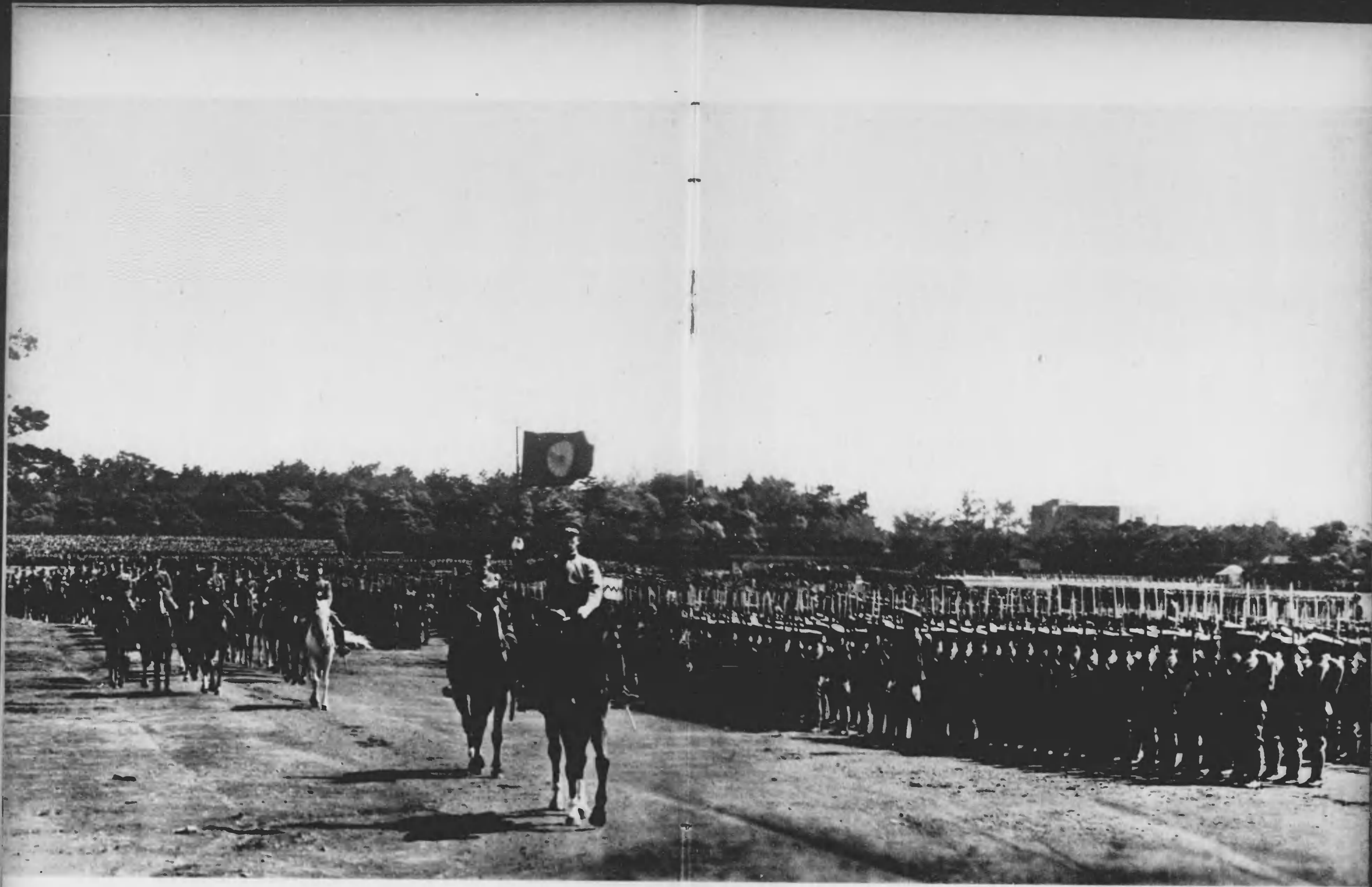
特別生乳の牧場
東京小金井

日本人が牛乳を飲み出した歴史は新しい。だから欧米諸国に比べれば、牧場やミルクプラントの設備にもなほ不備な點が多い。世界で一番高いと云はれるわが國乳兒の死亡率を低下させるためにも優良な牛乳をうることに力めねばならない。

新鮮、衛生、栄養は牛乳の生命だ。それには乳牛の改良から始めて、牛舎、飼料、ミルクプラントの改良改善が必須の條件となる。牛もまづ健康が第一だ。清潔な牧舎で栄養充分な飼料を與へ、運動も適度に、すこやかに育て、やねねならぬ。そして搾乳の方法や設備も完全でなくてはならない。消費者も乳兒を護るために、病床の栄養のために、積極的に生産者を支援しやうではないか。



- 1 豊かな牧草は豊かな牛を育てる。
- 2 特別生乳牧場が世界に誇る牧舎、採光にも換気にもあらゆる科學的努力が拂はれてゐる。
- 3 搾乳の前には牛の全身をよくよく洗ふ。
- 4 搾乳には無菌搾乳器を使用、乳房から勢よく出る乳は手にも、外氣にも全然觸れず、容器にたまりそのまゝ、攝氏零度の冷却器に入れられる。



昭和三十一年四月廿九日代々木原頭に於て寫

皇威輝く事變天下長節の觀兵式



内閣情報部
印刷室
内閣情報部の一室に
鳴り続けるタイプライ
ター。今日も国家情
報の心臓部は休まなく
動いてゐる。
絶え間なく廻る輪轉
機。内閣と各省、一億
の国民と網の目のやう
に結ばれ、共感し合ふ
血脈へ、今日も淀みな
く国家の血は送り込ま
れる。
彼女達の紙はききで
ひび割れた指は、春か
来ても送えなかつた。
昔は、その指に、小
さな白衣を着せて見た
初夏の陽ざしになつた
明るい恋際で、嫌々と
輝いた。
彼女達は、今日も微
物の中に一身をうちこ
む。おそろく、東洋平和
の春が蘇る日まで！



戦ふ織手

職業女性事録版



海軍省
電話交換室
受話機が彼女達の肉體
の一部となつてから長
い。
海軍省の交換室に閉ぢ
こもり、休まず、眠らぬ
日は幾度あつたらうか。
彼女達の身軀中を潮騒び
た波は、日本茶を淹れ廻
り、番號は彈丸のやうに
うちこまれた。
もう今日は離れるか！
さう思つた時、上海陸
軍隊の屋上に砲台があが
り、海の荒鷲は南京を紛
碎したのだ。
原調な番號も、わが海
軍の通電機。
不足につかれた眼をみは
り、「戦ふ織手」は、風
吹とフラッグをさしつゝ
ける。

ニュース映画
整理室
山と積まれたニュース
映画のフィルム。砲煙彈
雨の下、特派カメラマン
が生命を賭けて寫し撮つ
た血の記録だ。
この眼で書きなぐつ
た戦線報告書は、彼女達
編纂助手の手で整理され
初めて、測つた表を現は
してゐる。
歸かに流れるフィルム
平和な村、壯烈な突撃、
愛、爆煙、小さな一劇、
胸をちつと見つめる、眼
はかすみ、握りつゞける
鉄は重さを増す。
国民の熱狂に迎へられ
て、次々に巻へられるニ
ュース映画の巻に黙々と
働く編纂助手のかげり手
があることを忘れてはな
らない。





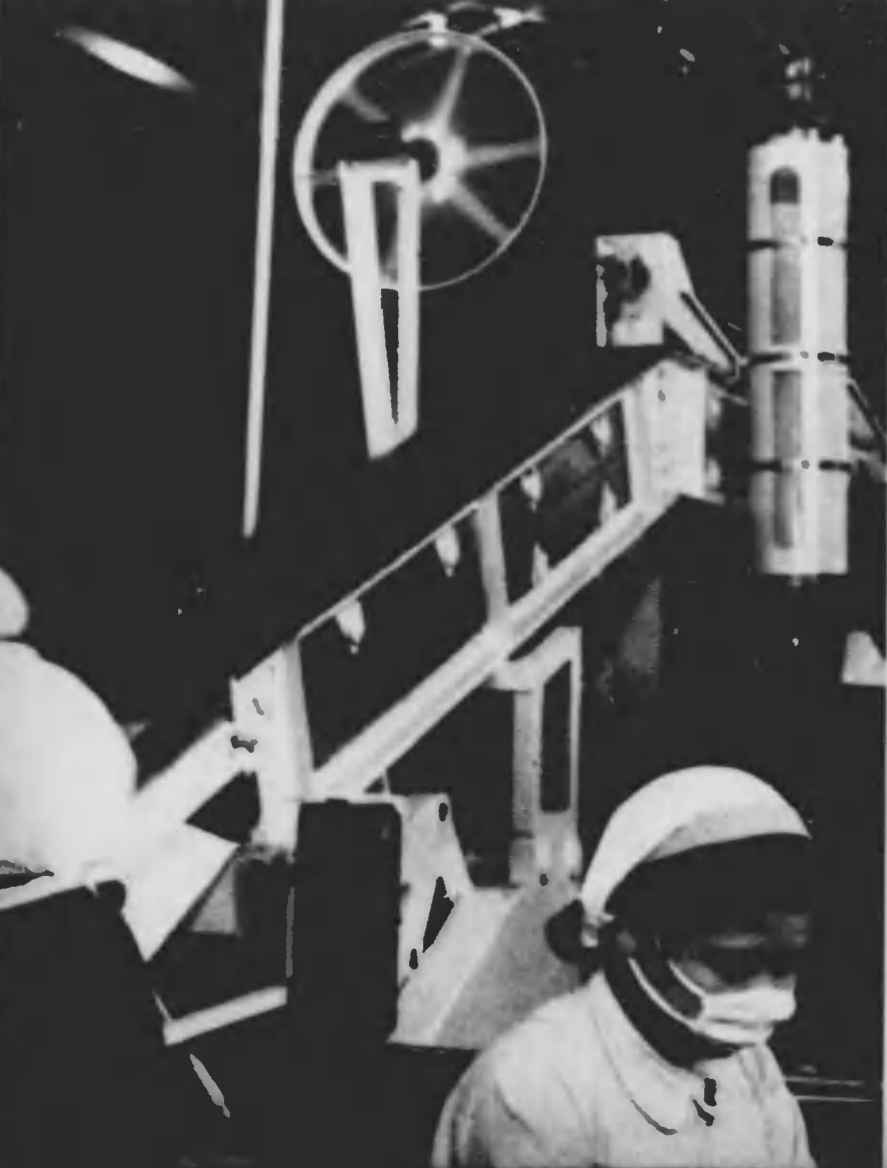
内閣印刷局野川分室
支那事變は長期戦に入つた。國民のあらゆる特長、戦はねばならぬ。勝たねばならぬ。總動員の實務が溢みこんでゆく。一億萬國民が、一枚の消便箋を節約、一銭の金も大切に使つて、皇軍を磐石の上に置くべく奮ふ。支那事變公債の準備が出来た。内閣印刷局野川分室に、ぐつと差しのべる國民の手を憶ひながら、公債整理に懸命な事務員達。その肩字には、忍苦に耐へる日本女性の決意が、しつかりと刻まれて

陸軍省被服廠
針持つ指に血を滂ませて、あゝ、こゝにも大和撫子、赤子があくる新りをこの衣にと、一心こめて縫ひ上げる。ミシンの響に、衣を身につける勇士の奮戦を思ひ、臂む足の疲れに行軍の辛苦を知る。

陸軍省新聞班
機関銃うつ心算、これも御國の爲ならば、今日の辛から、痛からと、南軍占領その時は思はず。高談「打ちました」戦死の知らせは、打ちました。指も愛しく沈みます。陸軍省の新聞班。夜も明々と灯をともし、星の動功、遠軍情、うつは和の女郎花



大阪地方 専賣局
一本 戦友と心置きなく 吸ひ合つて 群がり寄せる敵陣へ突きこんだ 死の突撃の夜明け前 「はまれ」を吸ふ度 思ひ出す 戦線便りを讀んだ日は 「はまれ」巻く心は はすむ 「はまれ」に結ぶ皇軍の友情 「はまれ」の服に 野營の夢も安らげ 皇軍は征く、皇軍は征く、「はまれ」と共に 専賣局の煙草工場 山に海に、仇うつ 皇軍のため巻くは 「はまれ」 こめるは故國の香り





「夕刊！夕刊！先生、夕刊！」何とも可愛い新聞屋さん、賣れるかな。(上海南京路)



日本の旗の掲げる者 (南京城内)



和乎の芽ぐみ



賣れたく、しかもいくつかの銅片を日本の先生は餘計に贈らせた。(上海南京路)



浦東の子供は大同自治政府の旗が大好き、何時の間にか覺えた「ペンキイ」(泥)にも叫んでゐた。(浦東)

上海のアマは惣立つゴルフレックスの鏡にすべてを忘れ乳母車のわだちに大地の香を味はつてゐる。(上海駁馬場リックス)



読者のカメラ

すくすくと伸びてゆく！ 少年工

東京市 阿部 貞

毎年、毎春、幾千幾萬の少年工は大尉に成され、立ってゆく。銃後操業、日本の強い姿は、こゝにもある。光榮あれ、この春初めてハンドルを握つた君らの未来に。



立ちあがる運糧隊 八王子市 毛利 貞吉

運糧隊員の中から幾多の聖戦参加の勇士を出してゐる。銃後の従員も歩調を揃へ、先頭に八王子局従事員一同は休戦を利用多量に軍の武運長久を祈願した。



一生懸命何でもしよう！ 新潟市 三津山 俊翠

前は深い伊豆の海、後は扇風山の山々、この天恵を利用して久能といへば、苺、トマト、胡瓜等の促成栽培で全国的に有名だ。そして今では多くの働き手は信じてけなげにも大陸に。遠つた家族は認めて今を盛り、海にバラビンの袋掛をしてゐる銃後の姿。



中堅國民の誇りを胸に献身奉公、進んで艱苦に堪える集團訓練を綱領として、全神奈川縣男女専門學校中等學校學生徒一萬二千名、報國團は各校々旗を先頭に關東學院野球場で堂々結隊式を行つた。

隊伍整然、鋭利な足どり、注目する瞳、緑の風がおかつはさんの首筋に汗の快味を飽へる。



見よ！ 銃後の練試の本日

國防體育大會
プログラムはまさに
たけなは。團體障害
物銃手にカン張り示
すもこの時ぞ、南京
の城壁も漢口の砲臺
も何のその。

操縦三勇士はこゝ
にもある！ しつか
と抱へた竹筒の中味
は砂でも、躍る心に
鼓技も火を吐く。



結隊式終了後、直ちにシャワー一枚、グイトルもキリ、と在いて勤務作業。寫眞は横濱高工學生の防空貯水池練業。

國民隊運動員には一體同調、心からの協力が必要で一人の遅延者もあつてはならない。殊に、未來の日本を背負つて立つ青年は生靈塗炭、現今非常時期に對する認識と自覺とを、じつかと双腕に擔ふことが義務である。

この趣旨の下に、四月二十四日神奈川縣下、青年學校の國防體育大會神奈川縣下、神奈川縣男女専門學校中等學校報國團結隊式が、いづれも眞摯な真誠込で行はれた。



健康は ラヂオ体操から



東京週報

昭和十三年三月十日 第三種郵便認可 昭和十三年五月十一日發行 (週一) 四六頁日發行 第十三號

(本書の大きさは縮尺規格A4・「週報」倍判)

社団法人
日本放送協会